

みずほっぺビジョン(第2期瑞穂区将来ビジョン)(案)に対する 意見の概要及び意見に対する考え方について

(意見人数：12人、件数：15件)

■戦略1 区の魅力を活かしたまちづくりを進めます

【意見の概要】

- ・山崎川の桜は瑞穂区の一番の魅力であるので、引き続き、桜がある環境を守ってほしいです。
- ・区内には日本を代表する企業もあり、住民に活気を与えてくれていると思います。半面、緑・公園・桜並木・山崎川の清掃等、ケアが遅く、せっかくの名所が迷所になっていると思います。区民が自慢できる文教区とも言われますが、公立学校の錆びたフェンス、クラブハウスはとてもきれいな町とは言えません。区民が自慢できる環境をつくってほしいです。
- ・瑞穂区は、桜が綺麗であり、桜をイメージした「みずほっぺ」がありますが、まだまだその魅力が知られていないので、もっと大々的に桜を推せる魅力スポットがあると思います。

【意見に対する考え方】

本市で管理する道路・公園・河川においては、除草や清掃などの維持管理を行っていますが、今後も適正な維持管理に努めてまいります。また、山崎川の桜並木を保全するため、衰弱した桜の保全や植替えを計画的に行っております。

学校施設の老朽化対策としては、リフレッシュプランに基づく計画改修を進めるとともに、修繕工事についても適宜実施するよう努めております。

区の木・区の花である桜は、区民アンケートでも多くの皆様に自慢できるものと回答いただいております。区の大きな魅力の1つであると認識しております。これまでも区独自の取り組みとして、さくらスイーツマップやさくらマップの作成に取り組んでおり、引き続き区内外へ桜の魅力を発信するため、桜をテーマにした取り組みを実施してまいります。

■戦略2 地域でのふれあいや交流を深めるまちづくりを進めます

【意見の概要】

- ・町内会・自治会への加入率を向上させるため、現場だけに任せず、区役所が、町内会の役割や加入のメリットなどをしっかりと発信・広報してほしいです。
- ・瑞穂区に学校が多いこと、教育のまちであることが良いと思います。学校と地域のつながりを持たせようとして取り組んでくれることが良いことだと思います。

【意見に対する考え方】

町内会、自治会は住民同士の親睦を深め、災害時などのいざという時に助け合うための一番身近な組織です。区役所では広報なごやに加入を促す記事を掲載しております。

また、令和5年10月からコミュニティサポーター制度が拡充され、区役所に相談員が1名配属されました。町内会、自治会活動に関するお悩みをお伺いし、提案やアドバイスを行うことを通じて地域活動をサポートしております。

区内には7つの高校があり、区役所では高校生がヤングサポーターとなって地域活動に参加する取組を行っております。令和5年には区民まつりに参加してブース出展してもらったり、区内主要交差点にて交通安全啓発活動を実施したりしました。こうした取り組みを今後も継続してまいります。

■戦略3 災害に強いまちづくりを進めます

【意見の概要】

- ・実際に災害が起こった時は、公助はしばらく期待できないので、自分たちでやることをやらないといけません。避難所の運営など、地域の組織で対応する必要があり、日ごろから、防災訓練等に取り組まないといけないと思います。
- ・避難所の数が足りないと思います。地域によっては、災害が起きた時に臨時の避難所として利用ができることになっている施設がありますが、備蓄物資が配備されていません。行政にはこういった状況があるということを知っておいてほしいと思います。
- ・学区をまたいだ、地域どうしのつながりをつくって、災害に強い、地域力のある瑞穂区にしてほしいです。

【意見に対する考え方】

大規模災害時には、行政機関による「公助」には限界があり、自分で自分や家族を守る「自助」、市民や事業者が助け合って地域を守る「共助」をお願いしておりますことから、地域の皆様方の力で、自主的に円滑な避難所運営ができるよう、防災訓練などに取り組んでいただくことは大変重要であると考えています。

現在、地域防災活動の中心的な役割を担い、発災時の指定避難所運営の要となる「地域防災リーダー」の育成に取り組んでおりますが、引き続き、関係機関と連携し、実践的な防災訓練や被災地派遣職員による講話などを実施し、地域防災力のさらなる向上を図ってまいります。

指定避難所は、自宅が被災して帰宅できない方が一定期間、避難生活を送るためのところであるため、自宅が安全な場合は在宅避難を、安全な場所で身を寄せられる親戚・知人宅や宿泊施設へ避難が可能な場合はそちらへ避難していただくようお願いしております。「なごやハザードマップ防災ガイドブック」などを活用し、日頃から7日分程度、家族の人数を考慮した備蓄品を備えていただくことに加え、事前の避難行動の話し合いなど、被害を軽減するために必要な取り組みについて、防災訓練や研修、各種イベントなどの機会を捉えて、周知・啓発してまいります。

また、地区防災カルテ※を活用した話し合いや防災訓練等の機会に、瑞穂区の一部でも実施している学区をまたいだ防災活動事例を紹介するなど、地域特性やニーズに応じた防災活動を支援するとともに、若い世代が親子で参加できるイベントなどを実施することにより、地域どうしのつながりをつくり、防災・減災対策の推進に取り組んでまいり

ます。

※地形や災害リスクなどの地域特性や、地域における防災活動状況などを学区ごとに整理したもの。

■戦略4 安心して安全に暮らせるまちづくりを進めます

【意見の概要】

- ・山手グリーンロードや弥富公園付近のような美しい街並みの道路などに、景観を大きく損なう白い無機質な防護柵の設置が増えています。都心から帰ってきたときに感じるほっと安心できる街並みを損なっているので、公園や道路への新たな人工物の設置には、きわめて慎重であってほしいと思います。

【意見に対する考え方】

市民一人ひとりが「安心して安全に暮らせるまち」を実現するためには、交通安全の確保が重要です。本市では、交通事故のない社会を目指し、交通事故の被害を軽減する安全施設を設置しておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

■戦略5 きれいで快適なまちづくりを進めます

【意見の概要】

- ・瑞穂区は自然に恵まれ、静かで落ち着いた街だと思います。「みずほっぺビジョン」を読んで、そのことをより確信できました。しかし、ワンルームマンションのごみの問題があり、道路に散らばった分別されていないゴミを見ると悲しくなります。根本的な解決をしてほしいと思います。

【意見に対する考え方】

ワンルームマンションの入居者に対し、家庭系ごみの分別推進のために、ターゲットの属性に応じた多様な手段による広報や、分別推進員、職員による地域巡回連携等による周知・排出指導を行います。

また、カラスによる家庭ごみの散乱被害が多く発生する場所については、重点対策ポイントとして設定し、巡回点検及び排出者・物件管理者に対する排出指導を行っております。

■戦略6 楽しく子育てができるまちづくりを進めます

【意見の概要】

- ・子どもを守ることは重要なことだと思っています。児童相談所虐待対応ダイヤル 189 の認知度がまだまだ低いので、より効果的な啓発方法を検討して認知度の向上に努めてほしいです。

【意見に対する考え方】

ご指摘のとおり、児童虐待を速やかに発見し子どもたちを守るためには、児童相談所虐待対応ダイヤル 189 の認知度を高めていく必要があると考えております。そのためには、関係団体との連携によりその周知に努めていくことはもちろんのこと、コロナ禍か

ら脱して小規模ながら 4 年ぶりに行うことができた街頭啓発活動を定期的に行うとともに、関連行事への参加者に対する啓発などを通じて「189」の認知度の向上に努めてまいります。

■戦略 7 誰もが健やかに暮らせる支え合いのまちづくりを進めます

【意見の概要】

- ・高齢者が気軽に集まれる場所がもっと増え、より身近になることで、外出する高齢者が増えるとよいと思います。
- ・子どもから高齢者まで、障害のある人もない人も安心して暮らすことができるまちづくりをしっかりと進めてほしいと思います。

【意見に対する考え方】

ご指摘のとおり、高齢者が気軽に集まれる場所が増え、より身近になることは、孤立化を防ぐばかりか、高齢者の健康維持、介護予防等の観点から必要なことであると考えており、住み慣れた地域においていつまでも安心して自分らしく暮らし続けていただくためにも重要な課題であると認識しております。

そのため、瑞穂区では、社会福祉協議会が中心となって、気軽に立ち寄ることができるサロンを各地域の皆さんが設置し運営するのを支援させていただいているほか、外出が困難な方にもサロン等に出かけてもらえるようお力添えする「おでかけ応援ボランティア」の仕組みを設けております。

また、各地域では、同世代の連帯や支え合い仲間づくりを通して、生きがいつくりや健康づくりに取り組んでいる老人クラブが多数あり、その活動を区としても支援させていただいております。

こうしたことを通じて、高齢者の外出を支援させていただいておりますが、障害のある方に対しましても、また、子どもや子育て中の世帯に対しましても同様に、住み慣れた地域で安心して、そしていきいきと暮らすことができるようにするまちづくりは大変重要な課題であると考えており、様々な取組みを行っております。具体的には、障害のある人もない人もお互いに尊重し合いながらともに暮らすことができるまちづくりのために、福祉教育の充実や普及啓発活動に努めて参ります。また、子育て中の世帯の交流の場の促進や子育て情報発信の充実を図るとともに、子どもたちが活発に交流できるよう子ども会活動への支援や子供向け行事の実践などを続けていくほか、児童虐待の防止にも取り組んでまいります。

このように、様々な取組みを通じまして、子どもから高齢者まで、また、障害のある人もない人も、安心して暮らすことができるまちづくりを進めてまいります。

■戦略 8 区民サービスの向上につとめます

【意見の概要】

- ・この将来ビジョン案はしっかり検討されており、この方向で取り組んでいただければ良いと思いますが、この案を含め区の計画や事業などの区民への周知については課題

があると感じています。ウェブサイトの直帰率調査など民間企業の取り組みも参考に、区民に、より伝わりやすい広報に努めてほしいと思います。

【意見に対する考え方】

区の計画等について、区民の皆さまに知っていただき、興味をもっていただけるよう、広報なごやや区ウェブサイト、SNSなどを活用し、広報をしてまいります。

市公式ウェブサイトについては、平成22年に全面リニューアルしてから約10年が経過していることもあり、令和5年度にコンテンツ分類の見直しなど、機能強化に向けた検討が行われております。区ウェブサイトについても、その検討結果や全市的な動向を踏まえ、より伝わりやすくなるような見直しを検討してまいります。

■その他

【意見の概要】

- ・成果指標について、結果を評価・検証できるよう、定量的に測定可能な指標にしていきたいと思います。

【意見に対する考え方】

15の成果指標は、町内会・自治会加入率や犯罪率など明確に数値化できるもののほか、区民アンケートにおいて、区の現状をどう思うかをお聞きした結果を用いている指標がおおよそ半数となっています。

中長期の計画である将来ビジョンの成果指標は、めざすべき将来像が実現できているかを評価するため、すべてを実績値などの定量的な指標とすることは難しいものと考えておりますが、引き続き、評価・検証しやすい成果指標のあり方について、研究してまいります。

なお、将来ビジョンに基づき実施する各年度の取り組みをまとめた「区政運営方針」では、定量的な指標も用いながら、効果的な評価・検証に努めてまいります。